

平成29年度学校自己評価シート(本庄第一高等学校)

目指す学校像 (ミッション)	学園理念「響生」 ・影響を受け、影響を与え、柔軟さと豊かさを育む。 ・本校の生徒と教師・職員は目標達成のため、お互いに響きあい、前進し、活力ある学園を築きます。 教育方針 ・本校の生徒・教職員は共に学ぶ心をもち、学力・技術の向上に努める。 ・本校の生徒・教職員は共に豊かな人間関係を築くため、礼節を重んずる。
本年度重点目標	1 各類型コースの充実 2 学力の向上 魅力ある授業づくり 3 開かれた学校づくり(学校開放・説明会・体験入学の充実・地域への貢献)

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価とは、最終回の学校評価懇話会を開催、また個々に意見を頂き、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者(聴取者)	
学校関係者(法人 監事・評議員)	4名
生徒	1名
事務局	2名

※番号欄は本年度重点目標の番号と対応させている。

学校自己評価						
年度目標			年度評価(平成30年3月31日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	
1	大学進学希望の増加をコースとしてどう対応するか。 ○S特・特進(目標) センター試験、一般入試での合格を目指している。また、合格できる大学より行きたい大学への合格を目指す。さらに入学時の目標を下げず、上げられる指導をしていく。 ○特総(目標) 推薦でも一般受験でも大学受験が可能な力を身につけさせ、よりよい進路実現の可能性を高めていく。 ○α、β(目標) センター試験 一般入試 AO 推薦入試、就職など様々な進路希望に対応していく。 多様な入試に対応するため小論文指導、面接指導の充実を図る。さらに部活動など得意分野での進学実績の拡大を目指す。 ○2020年大学入試に向けての研究 ○推薦による大学進学をした生徒であっても、進学先での授業に対応できる力を身に付けさせる。	進路実現への取組(各コースの目標や予定された補習・行事を行う)	○S特・特進は放課後の補習、個別指導、休日補習、長期休業中の補習の充実。 ○受験サプリの導入。 ○GTECやTOEIC、英検、漢検の資格取得に努めAO入試、推薦入試対策とする。 ○βは平日の希望者補習、長期休業中の補習を実施。 ○公務員模試の実施。 ○AO入試、推薦入試に対応する講座、模擬試験の実施。 ○国立大学へのAO入試や公募推薦などの研究。 ○2020年大学入試へ向けての研修等への参加。 ○部活など得意分野での進路指導強化。 ○学力が担保される推薦基準の研究と見直し ○各教科、学力の定着を見ながらの指導実践	○東大、京大、医学部、東工大、一橋大合格1名以上。 ○旧帝大合格3名以上。 ○国立合格20名以上。 ○早慶上理国合格20名以上、GMARCH合格50名以上。 ○センター試験、一般入試での合格率の向上。 ○AO入試、推薦入試合格率の向上 ○行きたい大学に合格できたか。	○旧帝大としては、北海道大学2名の合格が出たが、東大、京大、の合格には至らず、目標には達しなかった。しかし、浪人生ではあるが、2年がかりで面倒を見た生徒が群馬大学医学部に合格をした。 ○その他の国立としては、電気通信大1名、筑波大、1名、などを初めとした16名であったが、例年に比べると数としては減少に至ってしまった。 ○早慶上理についても、13名の合格に留まり、昨年に比べ大きく下回っている。原因としては、S特進で合格が獲得できなかったこと、国の方針として大学側に割り増し合格を厳しく制限する指示がなされたためと思われる。 ○上記の国の方針により、MARCH以下の受験者にも大きな影響を与えた。結果的に48名の合格に留まることになってしまった。	B
2	○安定した生活指導と校外でのマナー向上。 ○いじめ問題の防止と発生時の早期解決。 ○自転車マナーアップと事故防止。 ○交通事故防止のため交通安全教室を実施する。 ○携帯電話のマナーアップ ○教職員・生徒のあいさつに対する意識の向上	生活指導	○朝の校門指導を実施する。 ○自転車マナーアップに取り組みとともに法改正を意識した指導の充実。 ○交通安全防止のため交通安全教室を実施する。 ○本庄警察署からの防犯講話の開催。 ○いじめ基本方針にもとづいた全校での取組。 ○響生の時間での心の育成、挨拶、身だしなみ、言葉遣い、時間の大切さ、社会でのマナーなどを校長が訓戒する。 ○携帯電話の使用方の注意。 ○情報セキュリティ講座の開催。	○頭髪・服装の乱れにより指導を受ける生徒が減少したか。 ○自転車安全運転の向上につながる事故が減少したか。 ○いじめ基本方針にもとづいた防止策がはかれたか、早期解決がはかれたか。 ○教師、生徒が互いに挨拶できたか。 ○インターネットトラブルなどが未然に防げたか。 ○挨拶に対する教職員・生徒の意識が向上したか。	○校門指導や頭髪服装検査などで多くの先生方に注意深く見ていただいた。注意を受けた延べ人数は昨年度より15名増えたが、整容面が乱れたという印象ではない。複数回注意を受け、個別に指導する生徒数は随分減少した。 ○スクエアドストリートによる交通安全教室を実施し、交通安全に対する意識は向上したが、危険予測不足、安全確認不十分のため、交通事故の件数は増加した。 ○いじめ実態把握アンケート、学校生活アンケートを実施し、該当生徒の個別面談を行った。アンケートの結果にいじめ事案はなかった。また、いじめ事案が発生した際はいじめ防止基本方針に則り早期解決ができた。 ○挨拶はおおむね良好である。 ○情報セキュリティ講座を実施したが、写真や動画についてのトラブルが発生した。	B
2	○生徒の進路実現のための授業を工夫しながら行う。 ○長期休業に予備校の教員向け研修会に参加し、指導力の向上に努める。 ○進路を意識して自ら学習する(校内・家庭)よう指導している。 ○ICTの推進。 ○キャリア教育の確立。	授業改善の取組	○テーマを持った公開授業の推進。 ○予備校のスキルアップ講座への参加 ○生徒への「授業アンケート」の実施。 ○アンケート結果の各教科目標値設定 ○アクティブラーニングなどの先進的授業やICTを駆使したより効率的・効果的な授業展開の研究。 ○各活動におけるキャリア教育との関連付け	○公開授業の経験が授業に活かされたか、スキルアップ講座が活かされ公開授業や「授業アンケート」に反映されたか。 ○生徒の授業に対する意識が高まったか。 ○アクティブラーニングなどにより授業が定着するか。 ○本校の生徒に適したキャリア教育が実践できたか。	○21名の教員が公開授業を行った。 ○11名の教員がスキルアップ講座に参加した。 ○公開授業はICTやアクティブラーニングをテーマにした工夫した内容が散見できたが、充実とは至っていない。 ○学校に登校して勉強するように奨励しているためか、学校で勉強する時間が多い。家庭学習の時間は、短いが定着している。 ○キャリア教育の位置づけは、各教科におけるシラバスに狙いが設けられた。また、各コースごとの全体計画が完成した。 ○各教科の定期試験の平均点管理を強化し、学力をつけさせる指導を促した結果、生徒の学習に対する意欲は少しずつ高まってきている。	B
3	○本校生徒の活動、成果、教育実践を保護者、中学生、地域への情報提供を積極的に図っている。 ○地域の要請によるイベントへの参加、施設の貸し出しを行っている。 ○学校自己評価シートの公開。 ○生徒へのスクールライフアンケートや生徒会と連携し、必要な意見を吸い上げる。 ○様々な分野における地域との連携強化	開かれた学校づくり	○年間3回「第一高校通信」の発行。 ○年5回の中学校訪問。 ○HPを適宜更新し、情報を発信する。 ○体験入学会、体験入部会の実施。 ○学校内外での本校独自の説明会の実施。 ○地元社会体育団体への施設開放 ○警察署、小学校、保育園、商工会の催事への部活動の参加。 ○スクールライフアンケートの実施。 ○部活動による地域貢献の一環として、定期的な駅前清掃を実施。 ○地元青年会議所への教員派遣。	○計画通りに「第一高通信」が発行できたか。 ○HPの情報が更新され閲覧者が増えたか。 ○体験入学参加目標人数1000人を達成できたか。 ○地域社会との交流の機会が増えたか	○年3回「第一高通信」を発行し200校以上の中学に持参し本校の説明を行った。 ○HPをこまめに更新したが毎日ではなかった。 ○夏休み中に実施した体験入学会では、中学生参加者911名、保護者参加者804名となり前年より減少した。 ○校内で6回、校外で6回の説明会を実施した。すべての説明会で対面式説明会実施した。 ○部活動見学会を14回実施した。 ○社会体育団体施設を提供した。 ○吹奏楽、美術、書道、ダンス、テアリーディング、ボランティア部が地域の催事へ参加した。 ○剣道、バドミントンで少年クラブを主催している。 ○学校付近の市内一斉清掃を行った。 ○専攻部活による本庄駅前清掃活動を継続的に実施した。	B

学校関係者評価	
実施日平成30年5月末日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○コースに合わせた進学方法で、とても良い。生徒のレベルを考えた教育があると思う。その中で勉強方法もレベルに合わせてできると思う。 ○取り組みに一定の評価をしているが、取り組み自体やその成果が見えづらく、PR不足を感じる。また、文武両道の学風からなのか学校のカラーが見えづらいように思える。何か他校より抜けた専門的コースの増設もよいかもしれない。 ○簡単ではないが、進学率向上や有名大学進学こそが人気校になる絶対条件だと思うので、頑張してほしい。 ○現役大学生との交流機会を増やし、大学ではなく、「こういう人になりたい」という目標をもたせることも大切ではないか。 ○進学実績の目標未達成は、結果的に残念。個性を活かした進路が叶うように、フレキシブルに対応できる仕組みにすることが必要だと思う。本庄第一中学校からの進学生の個性、リーダーシップにも期待している。 ○29年度の進学実績を踏まえ、学校が改善に向けてしっかりと取り組んでいることが理解できた。結果が良かったことに対してはその要因分析を、結果が出なかったことに対してはその原因を深掘りすることが大切だと思う。	○挨拶への取り組みは生徒・先生個々によって温度差もあるように思う。いじめ問題への取り組み、自転車マナー向上への取り組みはしっかりしている。 ○全体的に生活指導は厳しく取り組んでいると思う。生徒を見ているとよく判る。 ○校内でのあいさつはとでも良くなっていると思う。次は校外でどれだけできるかが問われると思う。 ○社会的に自転車の事故が増加しているため、指導の工夫も必要かと思う。 ○整容指導は引き続き継続・徹底すべきと思う。ささいな生徒の変化に気づける環境が必要であると思う。 ○携帯電話使用のマナーについては、校外を問わず継続した指導が必要だと思う。 ○生徒が率先して自然に挨拶する姿は、気持ち良く素晴らしい。本校の特徴とも言えるので、挨拶日本一を目指してもいいのではないかと思う。勉強、部活動とも、「響生」の理念通り、社会に役立つための人格形成を第一義として、愛される人となれるよう、これまで以上に指導に当たって欲しいと思う。 ○細かく生徒指導をして頂いていることが理解できた。指導で大切なことは、なぜやるのか(目的)、何をやるのか(目標)を生徒にもしっかりと理解してもらうことが大切だと思う。そして定期的に確認を続けることが生活習慣につながると思う。
○Gメールを使った連絡やデジキャンの利用は多くの生徒に広がってきており、アンケートの際などには便利さを感じている。しかし、授業での利用はまだ活発化していないと感じる。 ○授業への取り組みについて一定の評価をしているが、公開授業や公開自主勉強などがあると、意識向上につながり、結果もささずについてくるように思う。 ○生徒に意欲を持たせ信頼関係を構築しつつ指導していくのは大変だと思うが、全員が進路実現できるように頑張してほしい。 ○ICTの活用をさらに活発化し、他校にない特徴をアピールできるとよい。 ○生徒の学力差もあるため、工夫した授業をしても効果が出にくい面もあると思うが、頑張してほしい。 ○ICTは、あくまでも学習理解を深めるための補助的なツールとして、必要に応じて効果的に活用し、先生方の情熱が伝わる魅力ある授業になるように、創意工夫すると良いと思う。 ○ICT環境の整備で便利になる反面、スマホマナーの教育も必要と思う。 ○社会進出を見据えたキャリア教育を行っていることは大変良いと思う。	○大会の結果などはデジキャンで生徒に送られてくるので分かるが、他の部活動の活動がよく知られていないため、報告があるとよい。 ○かなり開かれた学校になっていると思う。今後も継続してほしい。 ○少子化に伴い、生徒募集は大変であると思うが、地域とのコミュニケーションなども募集につなげ、他校にない魅力を引き出し頑張してほしい。 ○体験入学参加者の増加を狙った施策が効果的だと思う。 ○高校選択の際には口コミが一番影響するため、在校生の満足度向上や取り組み、成果のさらなる充実が必要であると思う。 ○PTA向けとしては、学校見学会を10月に実施しているが、例えば5月のPTA総会に多くの保護者が来校するため、学校見学会(授業参観)も併催し、総会、ミニ講演会、懇親会といった内容でもよいかと思う。 ○部活動による地域の催事への積極的な参加や社会貢献は、地域では良く認知されていると思う。本校の特徴でもあるので、機会があれば積極的に活動して欲しいと思う。 ○吹奏楽、書道、ダンス部等が積極的に地域活動に参加し、地域との連携を深めていると思う。また、卒業式の様子から生徒と教員の心が通じていると感じた。

平成30年度学校自己評価シート(本庄第一高等学校)

目指す学校像 (ミッション)	<p>学園理念「響生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・影響を受け、影響を与え、柔軟さと豊かさを育む。 ・本校の生徒と教師・職員は目標達成のため、お互いに響きあい、前進し、活力ある学園を築きます。 <p>教育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒・教職員は共に学ぶ心を持ち、学力・技術の向上に努める。 ・本校の生徒・教職員は共に豊かな人間関係を築くため、礼節を重んずる。
本年度重点目標	<p>1 各類型コースの充実</p> <p>2 学力の向上 魅力ある授業づくり</p> <p>3 開かれた学校づくり(学校開放・説明会・体験入学の充実・地域への貢献)</p>

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価とは、最終回の学校評価懇話会を開催、また個々に意見を頂き、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者(聴取者)	
学校関係者(法人 監事・評議員)	名
生徒	名
事務局	名

※番号欄は本年度重点目標の番号と対応させている。

学校自己評価				学校関係者評価					
年度目標				年度評価(平成31年3月31日現在)					
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日平成31年5月末日	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>大学進学希望の増加をコースとしてどう対応するか。</p> <p>○S特、特進(目標)</p> <p>センター試験、一般入試での合格を目指している。また、合格できる大学より行きたい大学への合格を目指す。さらに入学時の目標を下げず、上げられる指導をしていく。</p> <p>○特総(目標)</p> <p>推薦でも一般受験でも大学受験が可能な力を身につけさせ、よりよい進路実現の可能性を高めていく。</p> <p>○α、β(目標)</p> <p>センター試験 一般入試 AO 推薦入試、就職など様々な進路希望に対応していく。多様な入試に対応するため小論文指導面接指導の充実を図る。さらに部活動など得意分野での進学実績の拡大を目指す。</p> <p>○2020年大学入試に向けての研究</p> <p>○推薦による大学進学をした生徒であっても、進学先での授業に対応できる力を身に付けさせる。</p>	進路実現への取組(各コースの目標や予定された補習・行事を行う)	<p>○S特、特進は放課後の補習、個別指導、休日補習、長期休業中の補習の充実。</p> <p>○受験サプリの導入。</p> <p>○GTECやTOEIC、英検、漢検の資格取得に努めAO入試、推薦入試対策とする。</p> <p>○βは平日の希望者補習、長期休業中の補習を実施。</p> <p>○公務員模試の実施。</p> <p>○AO入試、推薦入試に対応する講座、模擬試験の実施。</p> <p>○国公立大学のAO入試や公募推薦などの研究。</p> <p>○2020年大学入試へ向けての研修等への参加。</p> <p>○部活など得意分野での進路指導強化。</p> <p>○学力が担保される推薦基準の研究と見直し</p> <p>○各教科、学力の定着を見ながらの指導実践</p>	<p>○東大、京大、医学部、東工大、一橋大合格1名以上。</p> <p>○旧帝大合格2名以上。</p> <p>○国公立合格12名以上。</p> <p>○早慶上理国合格20名以上、GMARCH合格40名以上。</p> <p>○センター試験、一般入試での合格率の向上。</p> <p>○AO入試、推薦入試合格率の向上</p> <p>○行きたい大学に合格できたか。</p>					
2	<p>○安定した生活指導と校内外でのマナー向上。</p> <p>○自転車マナーアップと事故防止。</p> <p>○いじめ問題の防止と発生時の早期解決。</p> <p>○インターネット犯罪防止の啓蒙</p> <p>○携帯電話のマナーアップ</p> <p>○教職員・生徒のあいさつに対する意識の向上</p>	生活指導	<p>○朝の校門指導を実施する。</p> <p>○警察官による防犯講話を実施する。</p> <p>○自転車マナーアップに取り組むとともに法改正を意識した指導の充実。</p> <p>○いじめ基本方針にもとづいた全校での取組。</p> <p>○携帯電話の使用法の注意。</p> <p>○情報セキュリティ講座の開催。</p> <p>○響生の時間での心の育成、挨拶、身だしなみ、言葉遣い、時間の大切さ、社会でのマナーなどを訓戒する。</p>	<p>○頭髪・服装の乱れにより指導を受ける生徒が減少したか。</p> <p>○自転車安全運転の意識が向上し、交通事故が減少したか。</p> <p>○いじめ基本方針に基づいた防止策がはかれたか。早期解決がはかれたか。</p> <p>○情報セキュリティ講座などを通じて安全にインターネットを利用し、マナーやモラルを守ることができたか。</p> <p>○インターネットトラブルなど未然に防ぐことができたか。</p> <p>○挨拶に対する教職員や生徒の意識が向上したか。</p>					
2	<p>○生徒の学習に対する意欲向上</p> <p>○生徒の進路実現のための授業を工夫しながら行う。</p> <p>○長期休業に予備校の教員向け研修会に参加し、指導力の向上に努める。</p> <p>○進路を意識して自ら学習する(校内・家庭)よう指導している。</p> <p>○ICTの推進。</p> <p>○各教科でのキャリア教育からみたらねらいに基づく実践</p>	授業改善の取組	<p>○アクティブラーニング・ICTをテーマにした公開授業の推進。</p> <p>○各種のスキルアップ講座への参加</p> <p>○生徒への「授業アンケート」の全教科実施。</p> <p>○アンケート結果の各教科目標値設定</p> <p>○アクティブラーニングなどの先進的授業やICTを駆使したより効率的・効果的な授業展開の研究。</p> <p>○各教科、響生、課外活動での各活動におけるキャリア教育の実践</p>	<p>○公開授業の経験が授業に活かされたか、スキルアップ講座が活かされ公開授業や「授業アンケート」に反映されたか。</p> <p>○生徒の授業に対する意識が高まったか。</p> <p>○家庭学習が定着するか。</p> <p>○本校の生徒に適したキャリア教育が実践できたか。</p>					
3	<p>○本校生徒の活動、成果、教育実践を保護者、中学生、地域への情報提供を積極的に図っている。</p> <p>○地域の要請によるイベントへの参加、施設の貸し出しを行っている。</p> <p>○学校自己評価シートの公開。</p> <p>○生徒へのスクールライフアンケートや生徒会と連携し、必要な意見を吸い上げる。</p> <p>○様々な分野における地域との連携強化</p>	開かれた学校づくり	<p>○年間3回「第一高校通信」の発行。</p> <p>○年5回の中学校訪問。</p> <p>○HPを適宜更新し、情報を発信する。</p> <p>○体験入学会、体験入部会の実施。</p> <p>○学校内外での本校独自の説明会の実施。</p> <p>○地元社会体育団体への施設開放</p> <p>○警察署、小学校、保育園、商工会の催事への部活動の参加。</p> <p>○スクールライフアンケートの実施。</p> <p>○部活動による地域貢献の一環として、定期的な駅前清掃を実施。</p>	<p>○計画通りに「第一高通信」が発行できたか。</p> <p>○HPの情報が更新され閲覧者が増えたか。</p> <p>○体験入学参加目標人数1000人を達成できたか。</p> <p>○地域社会との交流の機会が増えたか</p> <p>○学校説明会参加目標組数750組を達成できたか</p>					